

平成18年度用「技術・家庭」

開隆堂

新教科書の観点別評価一覧 家 庭 分 野

| 観 点          | 評 価   | 観 点   | 評 価   |  |   |  |   |
|--------------|---|---|---|--|---|--|---|
| 学習指導要領との関連   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○内容は、学習指導要領の「教科・分野の目標及び内容」「指導計画の作成と内容の取扱い」に準拠し、必要かつ十分な内容を取り上げていて、適切である。</li> <li>○実践的・体験的な学習活動を通して、生活をよりよくしようとする意欲を引き出し、自ら問題を見出し、課題を設定して解決を図る力を身につけることができるように、よく工夫されている。</li> <li>○必修と選択内容は、各校の指導計画に弾力的に対応できるように配列されていて適切である。</li> </ul>   | 男女共同参画社会や少子・高齢社会への配慮<br>人権尊重・共生の視点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○男女や世代（子どもから高齢者）・文化のちがいの枠を超えて、また、障害のあるなしにかかわらず、すべての人の人権を尊重することを前提として、記述や課題の設定・写真や図を工夫している。特に、身近な生活場面を取り上げたり、平易な表現を用いたりして、男女共同参画社会や少子・高齢社会について理解し、それらに対応していく力や自己肯定観を育むことができるようにしている。</li> <li>【例】三つ折り頁, p.136, 180・181, 188・189, 191, 193・194, 197, 227など。</li> </ul>   |  |   |  |   |
|              | 内容の範囲・程度・系統性  | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の生活経験や、小学校での学習をふり返り、中学生期の発達段階及び授業時数などを十分に考慮して範囲や程度が定められており、各題材の内容の系統性も極めて適切である。</li> <li>○内容の範囲は学習指導要領に適合していて、生徒の生活経験に十分配慮してあり、授業時数などの学校事情や生徒の実態にも弾力的に対応できるように工夫されている。</li> <li>○内容の程度は、本文・課題・図表・写真など、いずれも生徒の心身の発達段階によく適応していて大変よい。</li> <li>○内容の系統性は、各題材とも、基礎的・基本的内容の習得から応用・発展的な内容の学習へと、系統的に展開されており、極めて適切である。</li> </ul> | 安全教育・衛生上の配慮   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○作業上の事故防止や安全教育および衛生面についての細かい配慮がゆきとどいていて、極めて適切である。</li> <li>【例】p.16・17, 37, 38, 40・41・42, 71, 89, 91, 105, 109など。</li> </ul>   |   |  |   |
| 内容の選択・扱い     |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>各題材とも、学習指導要領に示されている内容及びその取扱いに照らして、内容の選択・扱いは適切である。</li> <li>○実習題材は、基本となる実習例から、参考・応用的なものまで、男女生徒いずれもが関心と意欲を持って取り組める多様な例が扱われていて適切である。</li> <li>○本文の内容は、特定の事項・事象・分野などにかたよることなく、全体として調和がとれている。</li> <li>○人権や男女平等、国際社会に生きる日本人としての自覚や豊かな感性を育成できるように配慮をした内容の選択及び取扱いがなされている。</li> </ul>  | 循環型社会・環境教育への配慮  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○三つ折り頁や口絵などでの総合的な扱いのほか、各題材の個々の学習場面や題材の最後で取り扱い、学習活動や生活の中で環境を大切にする実践的態度が身につくように細かい配慮がされている。</li> <li>【例】本文では、p.40～42, 67, 74, 90, 92, 93, 96, 118, 134, 135, 137, 228・229など。</li> </ul> |   |  |   |
|              |   | 内容の組織・配列・分量   | <ul style="list-style-type: none"> <li>全体として系統的・発展的に組織されており、その分量や配分は、授業時数や多様な指導計画などに適応できるように、よく考慮してまとめている。</li> <li>○各題材とも「導入」→「基礎学習」→「展開」→「まとめ・評価」の順で系統的・発展的に組織されている。</li> <li>○「学び方」(p.16・17)のページで学び方・考え方が分かり、A及びBの扉(p.18・19, 138・139)で「学習のめあて」を知り、各題材の扉(p.20 ほか)では題材全体の「学習の流れ」が分かるようになっていて、学習の見通しがつけやすい。</li> <li>○それぞれの本文では、各学習項目で導入課題を設けるなどして生徒に問題意識をもたせ、自ら解決しようとする能力を養うように組織されている。(p.24の冒頭 ほか多数)</li> <li>○学習のまとめごとに「ふり返り」(p.31, 151 ほか)が設定され、各題材の終わりにも「学習をふり返ろう」「生活に生かそう」(p.61, 97 ほか)が設定され、自己評価及び生活への応用ができるようになっていて、極めて効果的である。</li> <li>○本文内容は、基礎的・基本的事項を習得する上で適切な内容に精選され、適宜学習を深める問題や研究課題などが示されている。</li> <li>○応用・発展的内容は「参考」「ウォッチング」「発展」などのコラムや実習題材の参考例・応用例として区分し、多様な指導に弾力的に適応できるように工夫されていて適切である。</li> <li>○各小項目は見開き単位でまとめられていて、学習・指導に極めて効果的である。</li> <li>○目次では「必修内容」と「選択内容」を明示し、「選択内容」については本文扉でも明示していて適切である。</li> </ul> | 消費者教育への配慮  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○消費者教育についても、総合的な扱いのほか、各題材の個々の学習内容と関連づけて取り扱い、消費者としての実践的態度が身につくように細かい配慮がされていて大変よい。</li> <li>【例】p.200～219のほか、三つ折り頁, p.4, 36～39, 58～60, 67, 74, 84・85, 92・93など。</li> </ul> |  |   |
| 表 記 ・ 表 現    | 科学的視点への配慮   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒の意欲や興味・関心に応えられるように、「発展」マークを付し、本文と関連づけて新しい話題や課題・事例などが、適切に配置されている。</li> <li>【例】p.1, 6・7, 9, 75, 82, 94～96, 135, 188, 215, 226など。</li> </ul>   |  |   |  |   |
|              | 口 絵<br>三つ折り   |   | 伝統文化への配慮  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○生活の中で培われたそれぞれの伝統文化について、随所で取り上げられ、生活と文化との深いかかわりについて気づき、先人たちの知恵や、それらのよさを受け継ぎ、生活の中に生かしていけるように適切に工夫されている。</li> <li>【例】p.5, 8・9, 66～69, 94・95, 100, 118など。</li> </ul>                     |   |  |   |
|              |   |   | 扉   | 科学的視点への配慮  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○各題材とも、科学的な芽を育てる配慮が十分にされていて、極めて適切である。</li> <li>【例】p.44, 52, 54, 55, 65, 76・77, 127, 133など。</li> </ul>  |  |   |
|              |   |   |   | 図表<br>イラスト<br>写真   | 口 絵<br>三つ折り   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○口絵は、色彩がよく多様な資料が掲載されていて資料性に富んでいる。三つ折り頁は、「消費生活や環境に配慮した生活」および「自立し、共に生きる」の2つの柱をベースにして、人やもの、環境とのかかわりなど、生活を総合的に考えることができるように配置され、興味・関心を高め、学習のガイダンスとしても活用できて大変効果的である。</li> </ul> |   |
|              |   |   |   |  | マーク・キャラクター  | 扉  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○A・Bの扉や各題材の扉は、文字や写真・イラストや呼びかけ文などによって学習目標や流れが分かり、学習への意欲づけが図られるように工夫されていて効果的である。</li> </ul>  |
|              |   |   |   |  |   | レイアウト  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○図表やイラスト・写真は、課題を解決するための手がかりとして、また本文内容の理解を助ける資料として、表現や分量・大きさなど極めて適切である。</li> <li>【例】p.25の6図, p.44の13・14図, 実験, p.85の4図, p.107～109, 210～212など。</li> </ul> |
| 造 本 ・ 体 裁    | 爪見出し  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○マークやキャラクターは、生徒が関心・意欲を持って、主体的に楽しく学習を進めるのに大変効果的である。</li> <li>【例】p.15 (マークの説明), 40・41など。</li> </ul>  |   |  |   |  |   |
|              | 表 紙   | レイアウト   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○レイアウトは、見開きを有効に活用しており、本文と参考などの資料との区分も明確で、適切である。</li> <li>【例】p.24・25, 26・27, 40・41, 44, 45, 140～144など。</li> </ul>   |  |   |  |   |
|              |   | 印刷  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○奇数ページには爪見出しが設けられ、全体の中のどこを学習しているのかが常に分かるように工夫されていてよい。</li> </ul>   |  |   |  |   |
| 基礎的・基本的事項の扱い | 用 紙   | 表 紙   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○表紙は、「家庭分野」の学習内容を示唆する内容が、楽しい夢もてるイラストで表現されており、色彩もカラフルで、生徒の関心・意欲を喚起するのに極めてふさわしい。</li> </ul>  |  |   |  |   |
|              |   | 印刷  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○印刷は全頁カラー印刷で美しく、印刷インキは環境にやさしい大豆油インキが採用されていて、極めて適切である。また、色覚特性(カラーバリアフリー)にも配慮されている。</li> </ul>   |  |   |  |   |
| 内容の正確性       | 製 本   | 用 紙   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○用紙は、環境・資源に配慮した再生紙を採用し、紙質は写真や色彩の再現に最もふさわしいものが採用されている。</li> </ul>   |  |   |  |   |
|              |   | 製 本   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○製本は堅牢な針金とじて長期の使用に耐えるものとなっている。</li> </ul>  |  |   |  |   |
| 総 括          | <ul style="list-style-type: none"> <li>●全体として、内容の範囲・程度・選択・扱いは適切で、組織・分量や内容の取り扱い、表記・表現などで細かな工夫が見られる。</li> <li>●各題材は、「導入」→「基礎学習」→「展開」→「まとめ・評価」の順で構成され、各段階とも生徒の興味・関心・意欲を高めながら、問題解決的な学習が無理なく展開でき、系統的な学習が進められるように工夫されている。これらの工夫によって、主体的に学ぶ力、創意工夫する力を養い、あわせて、家庭生活や社会生活で応用・実践していく基礎的・基本的な知識と技能が習得できるように配慮されていて、極めて適切である。</li> <li>●安全教育や環境教育、消費者教育、科学的視点、生活と伝統文化とのかかわりについても、総合的な取り扱いだけでなく、それぞれ個々の学習場面と関連づけて随所に取り上げてあり、実践面で極めて効果的である。</li> </ul> |   |   |  |   |  |   |